

# 抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	平成 22 年 12 月 10 日		
申請者	所属科:外科	医師名: 藤田 正一郎	印
<b>抗がん剤プロトコール内容</b>			
略名	mFOLFOX6+アービタックス		
適応臓器名	EGFR 陽性の治癒切除不能な進行・再発大腸癌		
薬剤名	セツキシマブ(遺伝子組換え)製剤(商品名:アービタックス注射液 100mg) オキサリプラチン注射用(商品名:エルプラット注射用)(L-OHP) レボホリナートカルシウム注射剤(1-LV)(商品名:アイソボリン注) フルオロウラシル注射液(商品名:5-FU 注)		
注意点	各薬剤の注意点を遵守すること。		
<b>用法・用量・投与スケジュール</b>			
<p>アービタックスは weekly で、 FOLFOX レジメンは 2 週(14 日間)を 1 コースとして繰り返す。</p> <p>先にアービタックス</p> <p>1) 前投薬:塩酸ジフェンヒドรามミン 50mg 経口投与+生食 100ml、デカドロン 8mg(30 分)</p> <p>2) 初回 生食 500ml、アービタックス 400mg/m<sup>2</sup>(体表面積) 2 回目以降 生食 500ml、アービタックス 250mg/m<sup>2</sup>(体表面積)</p> <p>その後、FOLFOX レジメンとして</p> <p>3) 前投薬:5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗型制吐剤+デカドロン 8~20mg</p> <p>4) L-OHP として 1 回 85mg/m<sup>2</sup>(体表面積)と 1-LV として 200mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を別々のバッグに入れて 同時に 2 時間かけて点滴静脈内注射する。</p> <p>5) その後 5-FU として 1 回 400mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を 15 分以内で急速静注し、</p> <p>6) 5-FU として 1 回 2400mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を 46 時間かけて持続静注する。</p>			
Evidence	2010 年度版 NCCN ガイドライン。 2010 年度版大腸癌治療ガイドライン。 海外第 II 相臨床試験(OPUS、CELIM)。		
備考	K-ras 遺伝子 wild type に限り使用すること。		
がん化学療法委員会承認日:			